

## ～院長コラム～

### 『麻黄湯の次に飲む漢方薬』

5歳の女児です。昨年(平成25年)の1月の話です。  
2日前から39℃、昨夜は38.3℃あり、今朝は36.8℃だった。  
大丈夫かと見ていたら再び熱が上がってきたので外来受診した。  
来院時38.2℃、年末から咳漱、鼻汁はずっと持続していると。  
実は6日前に近医を受診して鎮咳剤、抗ヒスタミン剤、去痰剤を  
処方されており、2日前に抗生剤を追加されたと。  
インフルエンザワクチン2回接種済み、  
インフルエンザ抗原検査:陰性 咽頭:発赤軽度  
あとは特に大きな異常なし、過去にも異常を認めず。  
ウイルス性の咽頭炎と診断、熱が上がりがり下がりしていることから  
急性期に使う麻黄湯などは使いません。  
少しカゼがこじれたパターンと考えました。  
こういう熱型の方が経過が長く、難治性のことが多いです。  
そこで柴胡桂枝湯(さいこけいしとう)を開始しました。  
アデノウイルスなどの熱が5日間するようなものを想定しました。  
同日柴胡桂枝湯を2回内服。寝る前に37.7℃。  
2日には朝から36.6℃。  
咳と鼻水が少しですが食欲、元気もあり。  
劇的に解熱して一気に良くなりました。2日飲んで終わり、です。  
発熱して、一旦熱が下がったと思ったのに、再び熱が上がったら  
また麻黄湯を飲んではいけません(これは誰しも1回は失敗します)。  
カゼがこじれたら薬を変えないといけません。  
それが柴胡剤と呼ばれるシリーズです。  
今回は柴胡桂枝湯を使いましたが、小柴胡湯(しょうさいこう)を使う  
こともよくあります。  
大人でもこのパターンで試してみてください。どこかでバチッと  
合う瞬間に出会えます。

「子ども健康ネットブログ」より



なかしま子どもネット QRコード  
※名前を入力して送信して下さい



子ども健康ネットブログ  
QRコード

なかしま子どもクリニック



# 通信

## 2014年5月号

なかしま子どもクリニック 瑞穂市十九条(パロー北)

ホームページ [www.n-kodomo.com](http://www.n-kodomo.com)

診療時間		月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	
午後	14:00~15:00		△		★	△		
	16:00~18:30	○	○			○		

★:漢方外来 14:00~17:30 受付

△:乳幼児健診及び予防接種



診療予約

058-327-4891

お問い合わせ

058-327-3100